

おすすめの1冊

詳しくは10月にお知らせする予定です

『なずな』(堀江敏幸著/集英社/2011.5)

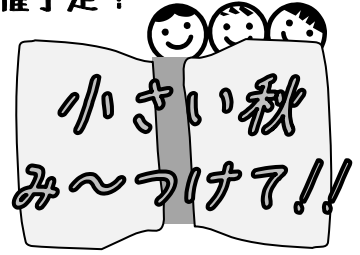
予期せぬ事情から生後1ヶ月半頃の弟の子ども「なずな」を預かることになった兄の保育の小説。男性が我が身に余る不安の中でミルクを作り、おむつを替え、寝不足と疲労を抱えつつ子育てをしていく過程の話。

彼は、ひと月ほどの保育の間に、なずなから得た幸福感がかくも透明で光あふれるものであったのを知り、その時間の中で周囲の人達と触れあいながら、自分の殻から少しずつ垣根を越えた付き合いができるようになる。彼を取りまく人々が軽妙で温かくかかっているのもまた読後感を一層味わい深いものにしてくれる。

かつて夜中に何度も起こされて夢中で子育てをしていた自分にもかけがえのない時間と幸せがあった…と、肌の深いところで気づかせてくれた作品でもあった。

【バケラッタ】

日高読もう会主催イベント
開催予定!



10月23日(日) 13:30~

日高酒蔵ホール

各サークル活動を日高読もう会として結集し、みなさんと秋のひとときを過ごしたいと思っています。

★参加サークル★

パラソル・ぶちとまと・朗読ひだか
日高読もう会朗読クラブ

いつでも 会 員 募 集 中

お問い合わせは読もう会事務局まで

★臨時の話し合いが入る場合は、図書館のホームページ内「日高読もう会」のお知らせに掲載。

次回の実行委員会は、8月23日(火)19時から図書館でおこないます。



8月18日(木)19時から図書館で夜のおはなし会*
こわいおはなしを聞きに来てね(20時まで開館)



「うっかりさん第2弾!」あるある」といっ方もいるのでは...?